

ProCube®

カイコ・バキュロウイルス発現系を用いた
リコンビナントタンパク質生産サービス

NEW!! 可溶化検討サービスをはじめました

目的タンパク質を可溶化し、目的タンパク質を失活させないことなどが可溶化検討では重要です。しかし、タンパク質の可溶化剤としてオールマイティな界面活性剤はありません。

ProCube®サービスでは、6種類の界面活性剤をセットにした可溶化検討サービス ProCube®OSsをご提供いたします。

そのタンパク質、あきらめていませんか？ ぜひ、可溶化検討サービスをお試しください。

ProCube®OSs — 可溶化検討サービス

ProCube®サービスでは6種類の界面活性剤をご用意しております。

NO.	Detergent	親水基	NO.	Detergent	親水基
1	N-Lauroylsarcosine sodium salt	イオン性	4	Triton® X-100	非イオン性
2	n-Dodecyl-β-D-maltoside	非イオン性	5	CHAPS	両イオン性
3	n-Octyl-β-D-glucoside	非イオン性	6	n-Dodecyl-phosphocholine*1	両イオン性

*1 Fos-Choline™12

なお、上記6種類以外の試薬をご指定の場合は、別途ご相談ください。

アプリケーション例

【概要】

弊社保有の不溶性タンパク質(膜タンパク質)3種について、沈殿画分に6種類の界面活性剤を終濃度1%で添加し、上清および沈殿画分をWB法で検出いたしました。

【結果】

タンパク質A

NO.1およびNO.6で可溶化されました。

タンパク質B

どの界面活性剤を用いても可溶化されませんでした。

タンパク質C

どの界面活性剤を用いても可溶化されました。

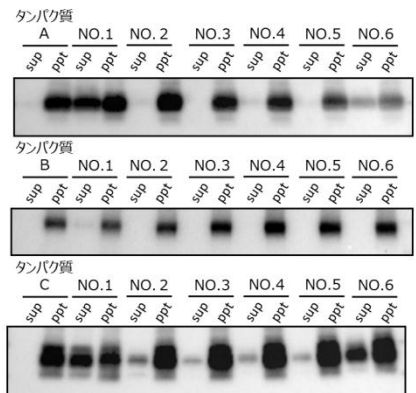


図1. 6種類の界面活性剤による可溶化試験結果

【サービス概要】 ProCube®OSsは、6種類の界面活性剤を用いた可溶化試験です

【納品物】 報告書

【納期】 1週間～

ProCube®OSsによる可溶化条件検討後は、可溶化サービスProCube®OSをぜひご利用ください。

お問合せはこちらまで！

シスメックス株式会社 R&I事業本部

Mail procube.japan@sysmex.co.jp

Web procube.sysmex.co.jp

